

～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

## コシヒカリ1等を目指し 5/15頃中心の田植えを徹底しましょう！

- これからは気温が高くなる時期です。育苗ハウスは十分換気を行い、がっちり苗に仕上げましょう。
- 基肥量は、土壌条件に応じた**施肥基準**となるよう調整しましょう。
- 高温化に伴い、代かき後の雑草の発生が早くなっています。除草剤は遅れずに散布しましょう。

### 1. 硬化期の育苗管理

- 日中のハウス内温度は、25℃以下となるよう換気を徹底しましょう。（特に晴天日は、気温が低くてもハウス内温度は急激に上昇するので、早めに換気を始めましょう。）
- かん水は、床土の乾きに応じ、的確に行いましょう。（育苗培土の種類により乾き具合が異なるので注意しましょう。）
- 田植1週間前からは、夜間もハウスを開けましょう。

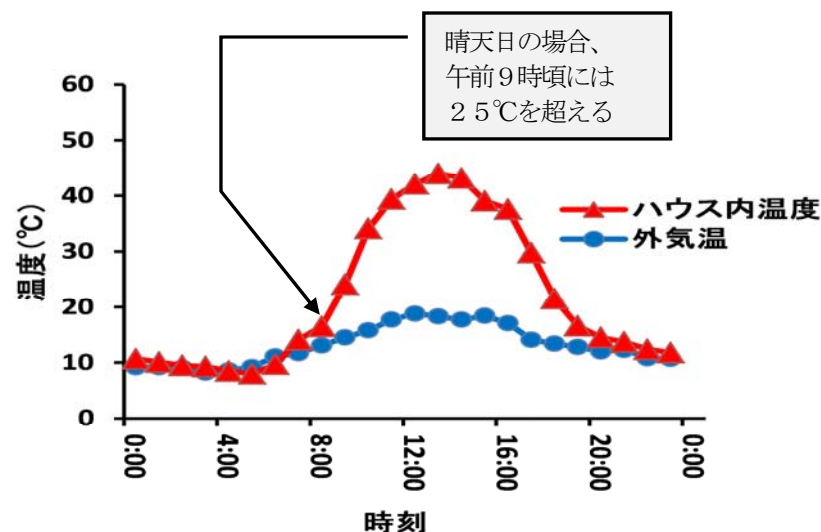


図 晴天日の外気温とハウス内温度の推移

### 2. 本田準備

- 雑草の発生を抑えるため、代かきは田植予定日の3～5日前に実施しましょう。
- 代かきは少なめの水で行い、稲わら等の埋没に努める。また、濁り水は用水へ流さないでください。

### 3. 田植

- 栽植密度は70株/坪、植付本数は3～4本/株、植付深さは、3cm程度（第1葉がみえる程度）としましょう。

#### 【基肥量】

- 基肥量は、土壌に応じた施肥基準を遵守しましょう。
- 田植機の施肥量は、メーカーやほ場の条件により異なるので、田植前に肥料の落下量を確認・調整したのち、実際の田植作業でも落下量を確認しながら、必要に応じて再度調整しましょう。

#### <肥効調節（一発）体系>

品種名	肥料名	基肥量(kg/10a)		
		砂質浅耕田	砂壤土乾田	壤土乾田
コシヒカリ	LPss コシヒカリ1号	35	30	25
てんたかく	LPs 早生専用	45	43	40
てんこもり	LPss 晩生専用	45	43	40

#### <分施肥体系>

品種名	肥料名	基肥量(kg/10a)		
		砂質浅耕田	砂壤土乾田	壤土乾田
コシヒカリ	基肥 206	35	30	25
てんたかく		45	40	35
てんこもり		45	40	35

## 【育苗箱施薬】

○田植時に育苗箱施薬を行う場合は、規定量を散布しましょう。

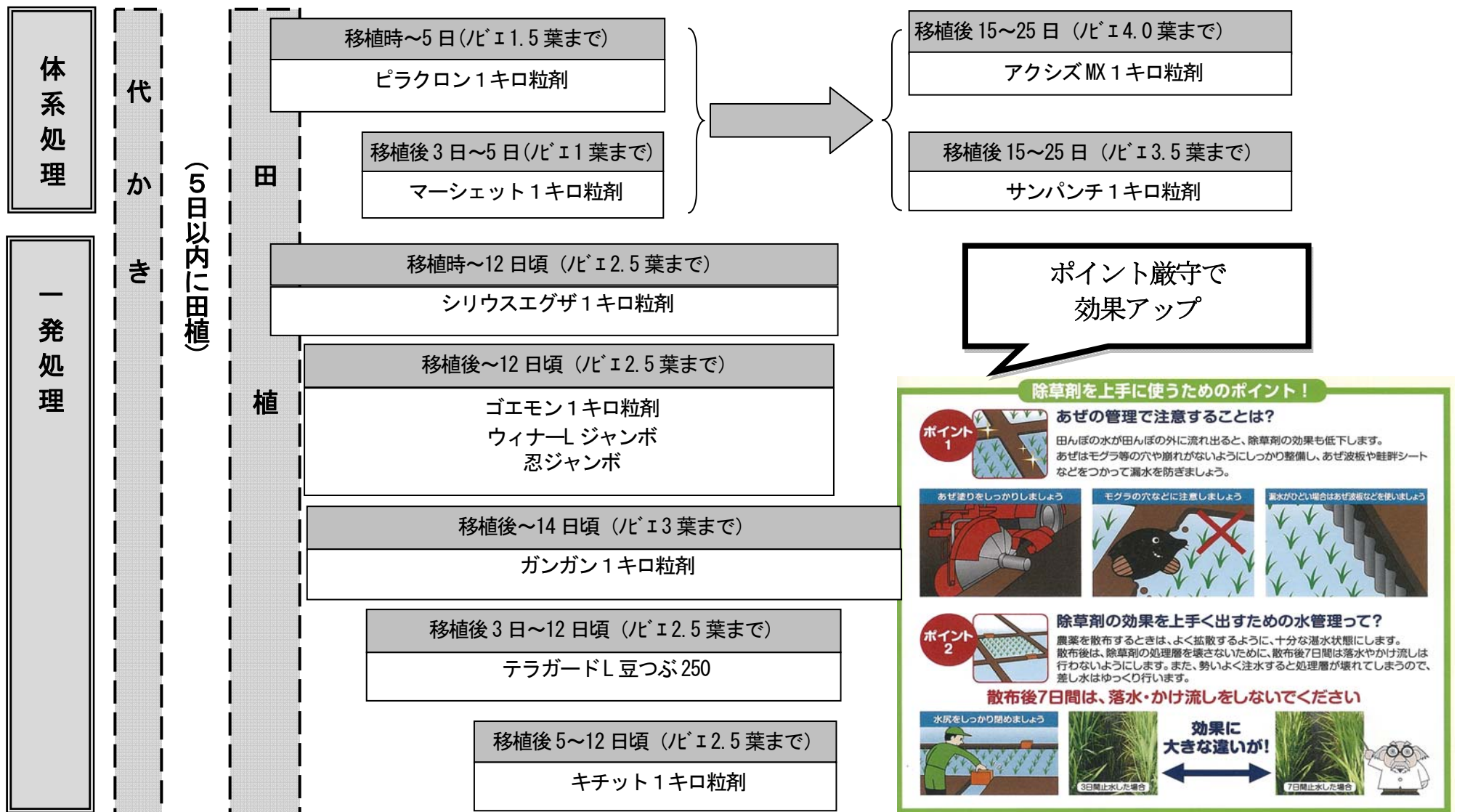
使用農薬	散布量	施薬時期	対象病虫害	使用回数
エバーゴールド箱粒剤	50g/箱	播種時(覆土前) 田植3日前～ 田植当日	葉いもち、白葉枯病、紋枯病、イネミズゾウムシ、 イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、フタオビコヤガ、 ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イネツトムシ	1回

※育苗ハウスで野菜を栽培する場合は、播種時やハウス内での施薬は行わないで下さい！ (ポジティブリスト対応)

## 【除草剤の散布】

- 代かき後に気温が高いと、雑草の発生・生育が早まるので、遅れずに散布しましょう。
- 散布後5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させないようにしましょう。
- 散布後7日間は、止水管理(落水やかけ流しをしない)とし、水田外への流亡を防ぎましょう。
- 田植同時散布機(こまきちゃん等)を使用する場合は、剤によって粒径や比重が異なり、散布量が変わるので、散布機の散布量調整を必ず行いましょう。

### <除草体系>

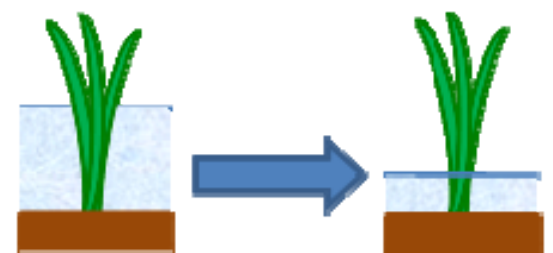


## 【水管理】

- 田植直後は、苗が水没しない程度のやや深水としましょう。
- 活着後は、初期生育の促進のため浅水管理とし、早朝入水・日中は止水で田水温が高くなるように努めましょう。

田植直後は  
やや深水

活着後は  
浅水管理



## 春の農作業安全運動展開中！

声をかけあい助け合い農作業事故〇へ！

まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全